

環境保全・負荷低減

● 気候変動対応

GHG排出量^{*}の2050年度「実質(ネット)ゼロ」達成を確実なものとするため、中間目標として「2030年度に2020年度比30%削減」を設定して取り組んでいます。

省エネ活動に加え、近年では購入電力の再エネ化やエネルギー転換にも取り組み、JSRグループ一体となって活動を推進しています。

※ Scope1 + Scope2で算出されたもの

● 資源循環

国内グループは、循環型社会の実現に向け、「廃棄物の外部最終埋立処分量を廃棄物発生量の0.1%以下にする」ことを目標に定めてリサイクルを推進しています。

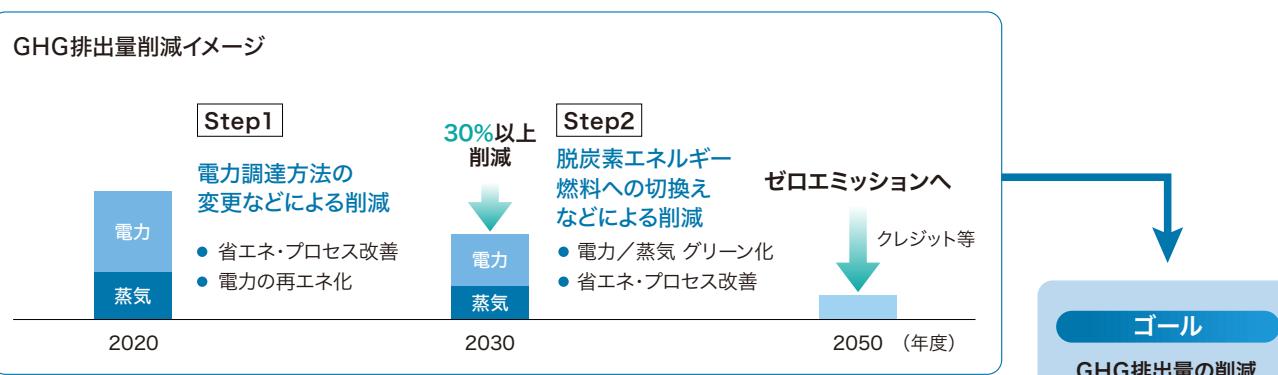
さらに、国の「プラスチック資源循環戦略」を受け、使用済プラスチックを対象に「2030年度に熱回収を含むリサイクル率を100%、熱回収を含まない値では60%とする」目標を掲げ、リサイクルを推進しています。取り組み状況の詳細は、サステナビリティレポート2025で公開します。



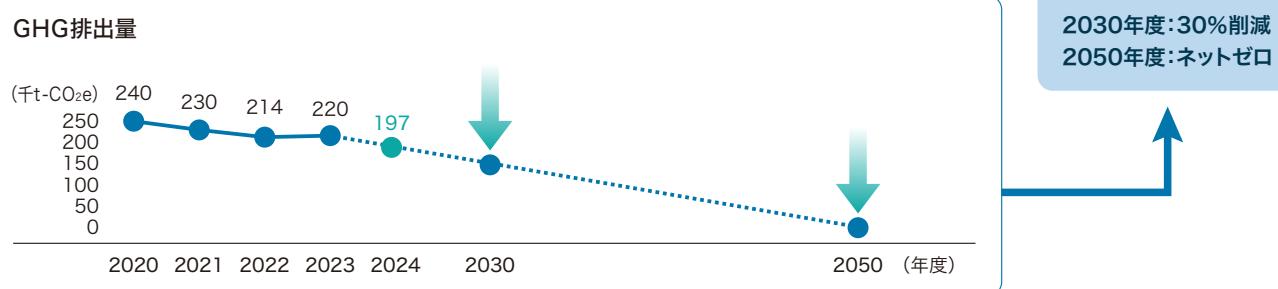
詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。

JSRグループは、水資源を飲用以外に、製造工程における原料、洗浄水、化学物質の除害装置、および冷却水等に使用しています。そのため、水資源のプロセス内における循環利用などに取り組むとともに、使用後は適切な浄化処理や水質確認などを施したうえで河川などに排出しています。

GHG排出量削減イメージ



GHG排出量



● 化学品管理

JSRグループでは化学物質審査規制法などの国内法令を遵守することはもとより、2007年の欧州REACH規則施行以降、海外各国で強化されてきた物質登録などの規制動向をつど確認し、事業内容や現地法人の体制も踏まえて、漏れなく対応を実施しています。

また、製品安全確保の見地から、製品の設計段階から各国の物質リスク評価の動向を踏まえた製品開発を行っており、製品中の有害化学品の計画的な削減と廃止に向けた自主的取り組みも推進しています。